

第3章 紀勢本線（多気～九鬼：91.9 km）

第1節 旅プラン

平成27年8月8日（土）～8月16日（日）、夏季休暇を活用し、3泊4日（8月8日より）で紀勢本線の多気から九鬼までの営業キロ 91.9 kmに挑戦する。歩いた後は実家に帰省。そのスケジュールは次の通り。

① 8月8日（土）晴れ

青春18きっぷを活用し、紀勢本線の多気まで移動。多気～栃原までの営業キロ 12.6 kmを歩く。栃原から尾鷲まで列車で移動し、ビジネスホテルフェニックスに宿泊。

② 8月9日（日）晴れ

栃原まで列車で移動。栃原～大内山までの営業キロ 31.8 kmを歩き&ジョギング。再び尾鷲まで列車で戻り、ビジネスホテルフェニックスに宿泊。

③ 8月10日（月）晴れ

列車で大内山まで移動。大内山～尾鷲までの営業キロ 36.4 kmを歩く。ビジネスホテルフェニックスに宿泊。

④ 8月11日（火）晴れ

荷物を駅前のビジネスホテル“胡蝶館”に預け、列車で九鬼まで移動。九鬼～尾鷲までの営業キロ 11.1 kmをジョギング&歩き。新宮まで青春18きっぷで移動。新宮から新大阪までは特急“くろしお28号”で移動。そこから新幹線を活用し、実家へ。

※8月11日～8月16日、実家に滞在し、ゆっくり骨休めと墓参り。

※8月16日、岡山発13時23分（ひかり472号）で自宅に戻る。

第2節 1日目：8月8日（土）：多気～栃原 晴れ

多気(12:54)～相可(14:06)～佐奈(15:30)～栃原(17:06)

昨夜は、小松原夏祭り（43回目）に参加。1年振りに武田さん等地元の人と懇親を深める。21時頃自宅に戻り、紀勢本線の旅に向け粗方の準備。二日酔い気味であったが、目覚まし時計により、3時に起床できる。昨夜に引き続き、旅行の準備をし、体調を整え、自宅を4時半頃出る。南林間の駅前のコンビニで朝食、お菓子等を購入。南林間5時1分の始発で藤沢（5時33分着）に向かう青。青春18きっぷを活用し、単独で静岡や名古屋方面に向かう際には、この始発をいつも利用し、藤沢から以下の電車に乗り継いで目的地に向かうことにしている。それ故、お馴染みのダイヤである。今回の多気までの電車のダイヤは

以下の通り。

- ・ 藤沢 5 : 29 → 小田原 6 : 21
- ・ 小田原 6 : 22 → 熱海 6 : 45 (階段を使用しない隣のホームで乗り換え)
- ・ 熱海 6 : 49 → 浜松 9 : 19 (階段を使用し乗り換え)
- ・ 浜松 9 : 23 → 豊橋 9 : 56 (階段を使用し乗り換え)
- ・ 豊橋 10 : 03 → 名古屋 10 時 58 分 (快速 : 階段を使用しない隣のホームで乗り換え)
- ・ 名古屋 11 : 37 → 多気 12 : 54 (快速みえ 7 号 : 階段を使用し乗り換え)



南林間駅



藤沢駅



熱海駅



名古屋駅

藤沢駅のベンチで、待ち時間を利用し、南林間駅前のコンビニで買ったおにぎりを食べる。藤沢から多気まで電車は、終始盆休みで込んでいた。そのため、熱海から沼津までは座れず。藤沢から多気までの車中、何回も見る風景を堪能しながら、激辛数独パズル（創刊 30 周年）を解きながら、そして、ウォークマンを聞きながら移動時間を過ごす。また、ぼつと電車の中で人の動きを観察するのも実に楽しい。名古屋で“快速みえ 7 号”に乗るのに 40 分位待ち時間があったので、トイレ休憩と 8 番乗り場のホームにあるコンビニで電車の中で食べるおにぎりを購入。あっという間に、7 時間余の時間が過ぎ去る。この快速は、伊勢鉄道河原田から津まで使用している関係（近道）で 510 円の運賃を支払う事由が発生する。青春 18 きっぷの運賃には入っていない関係で車中にて精算。この路線は、津まで近道の経路で関西本線・紀勢本線である河曲（かわの）、加佐登、井田川、亀山、下田、一身田の各駅は通らない。



快速“みえ”



多気駅



12時54分、多気駅に到着。トイレでタオルに水を浸し、帽子の下に被る。帽子はジョギングもあるので北海道歩きと同様、“全国鉄道つたい歩き”の帽子とする。駅前の商店街通りを見ると、昨年失敗した記憶が蘇る。13時2分、相可（おうか）駅を目指す。13時11分、多気駅前郵便局前を通過。それでも、佐奈川と櫛田川の土手を勘違いして、300m位誤って進む。前方の車両の進路で気づく。JAFを1.5倍に拡大した地図では識別できなかった。10分位ロスする。13時26分、新橋東詰箇所まで戻る。この川を櫛田川と見なしたのが誤り。この川は佐奈川であった。それ故、万歩計で100歩ある橋を渡る。今歩いている道路は、県道421号線（勢和兄国松阪線）とあった。13時35分、相生神社（延命宮・福之神）前を通過。縁起の神社であったので、道なりからお参りする。14時2分、十字路に出る。櫛田川土手に沿って歩く。14時6分、本日最初の相可駅に到着。



新橋東詰



相生神社



相可駅

14時11分、多気郵便局前を通過。14時20分、十字路にぶつかり直進すべきか、左折すべきか迷う。暫く右往左往。確認のため、自動車販売店に入り、佐奈駅方向を教えて頂く。やはり、概略の地図が示している通り、左折が正解であった。14時28分、JR線を跨ぎ、鉄道の左側を歩く。14時44分、これからお世話になる国道42号線に合流する。14時48分、水分補給。15時6分佐奈神社前を通過。ここから国道から路地に入る。路地から佐奈駅が見えるが川や水田等があり、中々到着できず。国道にも出るが、駅への路は見当たらず。15時30分、悪戦苦闘した結果、やっと佐奈駅に到着。



佐奈神社

佐奈駅

15時45分、境第一踏切を横切り国道42号線に戻る。15時45分、前方にラクダのような山があった。15時47分、多気町前村に到達。15時52分、尾鷲まで74kmの道路標識前を通過。16時2分、井戸谷バス停前で上り特急電車が通過して行く。16時22分、高速道路下を潜る。この限界で栃原駅までの所要時間や一息つくため、コンビニに立ち寄る。店員さんから、栃原まで5〜6分位との回答を得るが、これは車での所要時間であった。16時43分、多気町から大台町に入る。山間の風景から、数分では栃原駅には到着できそうになかったからだ。その先に「ようこそ清潔日本一の町大台町」の看板があった。



ラクダのような山



井戸谷バス停



大台町へ

17時2分、郷社川添神社を見つける。所要時間や周りの風景から、そろそろ、栃原駅だと考え、農作業に出ている人に確認する。グッドタイミングであった。その先を真っ直ぐ行った先に栃原駅(17時6分)があった。次の電車は17時53分(2両編成)であった。尾鷲駅には19時51分到着。大内山駅で上り下りの特急を待ち合わせで約30分程度待ち合わせ。ビジネスホテルフェニックス(303号室)には20時16分到着。3泊で19,200円(掃除しない場合には一泊につき500円のキャッシュバックあり)を支払う。5階建のビルであった。ロビーは2階、レストランは5階、屋上には洗濯場があった。ホテルの近くの居酒屋“太将”で、豪勢な一夜干等を肴にして晩酌。女将さんと酒を飲みながら世間話をする。この店で2時間位寛ぐ。ホテルに戻るや否やバタンキュー。本日の営業キロは12.6km、万歩計は28,636歩であった。



郷社川添神社



栃原駅



第3節 2日目：8月9日（日）：栃原～大内山 晴れ

栃原(9:05)～川添(10:23)～三瀬谷(12:00)～滝原(13:53)～阿曾(15:06)～伊勢柏崎(16:28)～大内山(17:38)

5時過ぎに目が覚める。本日の作戦を練る。6時半頃、5階のレストランで朝食(和食)を済ませ、7時32分の列車(2両編成)で栃原駅(8時54分着)に向かう。下り列車(4両編成)もやって来る。本日の歩くコースを窓から観察。滝原駅から阿曾駅まで鉄道に沿った道筋があった。しかし、国道42号線歩きで対応。大内山で上り下りの離合。



ビジネスホテルフェニックス



尾鷲駅





栢原駅



河内谷川

栢原駅前には“ことぶきタクシー”が1台留まっていた。9時5分頃から歩き出す。ことぶきタクシーの運転手に「こだわり鉄道つたい歩き」の名刺を渡す。世間話をした後、お茶等の自動販売機の場所をお伺いする。9時14分、国道に出る。9時24分、尾鷲まで68km地点に到達。9時30分、199歩ある不動谷橋を渡る。神瀬という地名であった。9時41分、河内谷川を渡る。10時11分、下楠踏切を横切り、鉄道の右側を歩く。この駅も前に見えるが、建物等があり、中々到着できず。やっと、10時23分、本日最初の川添駅に到着。



下楠踏切



川添駅

5.7kmの距離しかないのに、随分遠く感じた。10時31分、上楠第一踏切を横切り、鉄道の左側を歩く。10時56分、高速下を通過。その手前に城の建物や赤い鳥居がある神霊学会がり。11時38分、尾鷲58kmの地点に達する。12時、佐原踏切（帰りは12時15分）を往来して、特急停車駅でもある三瀬谷駅に到着。300m位、踏切から引き返す格好となった。この駅前も、国道からのアクセスが大変であった。駅が目に見えるのにも関わらず、線路の南側から直接駅につながる通路がなく、尾鷲方面から300m位離れた先から踏切を横切り、回り込む道筋しかなかったからだ。



三瀬谷駅への路



三瀬谷駅

新船木大橋を渡ると、大台町から大紀町となった。12時53分、十割そば“七福”でそばを頂く。昼時でもあり、店内は込んでいた。この店を掲載した新聞記事があった。20分位火照った体を冷やす。13時30分、滝原公園に。13時53分、そろそろ滝原駅と思い、右折した先に偶然にも滝原駅があった。



十割そば



滝原公園



滝原駅

この駅は、国道から滝原大橋（169歩）を渡り、真っ直ぐ歩いた先にあった。橋を渡ると、大紀町から再び大台町となった。14時13分、尾鷲52kmの地点に到達。14時31分、川と鉄道を横切り、鉄道の右側を歩く。この辺りでデジカメの電池切れとなる。



滝原大橋



尾鷲まで 52 km



電池切れの瞬間

平瀬川を渡った先に阿曾駅（15時6分）があった。自転車野郎に挨拶される。15時13分、国道に出る。平瀬川で何人もの釣り人を見かける。朝に引き続き、道路に山影があったのでジョギングする。一本早い列車に乗ることを目指して。15時38分、JR線を横切り、JR線の左側を歩く。15時42分、4,641歩ある岩船橋を通過。16時20分、116歩ある紀勢大橋（大内山川）を渡る。そろそろ伊勢柏崎駅と思い、曲がり先の発見に大成功。その根拠の一要因は国道からラッキーにも上り特急電車が100m位先に見えたからだ。後は所要時間と山勘。この駅も案内板がなかった。通り過ぎると、川が遮り、伊勢柏崎駅は踏破できなかった。運よく国道から右折する箇所を発見できたのが功を奏す。16時25分、下崎踏切を横切り鉄道の右側を。その先に伊勢柏崎駅（16時28分）があった。



スマホで対応！！阿曾駅

この駅から道なりに大内山駅を目指そうとするが、国道に出られそうにない。確認のため、民家の庭先にいた人に問い合わせたところ、「山道を通れば行けますが、難しいですよ。先程の橋に戻った方がいいですよ」とのアドバイスを。それ故。再度下崎踏切（16時38分）に戻る。ここから、4.7km先の大内山駅を目指し、何とか一本早い電車（大内山発 17時36分発を17時40分と転記ミス）に乗ろうとジョギングする。この駅で梅ヶ谷駅から大内山駅踏破と予定が変更（一駅短縮）となる。少なくとも、20時前にはホテルに到着したかったからだ。NHKの大河ドラマ“花燃ゆ”を観るために。クライマックスの場面が本日放映されるからだ。棕梨側を更迭し、高杉晋作側の藩体制になる名場面を最初から観たかった。JAFの拡大地図を見ながらのジョギングのため、何とか17時38分に大内山駅に到着するも、列車が17時36分に発車したところであった。駅近くで列車の汽笛が聞こえたので、「やばい」と考えたが……。非常に残念。道筋がはっきり分かれば、遅くとも17時半には到着できていただろう。くねくねした山道であったので、少なくとも7km位はあったかも知れない。非常に残念無念。次の電車は、18時32分発ではなく、18時55分発であった。このダイヤ体制は夏の特別時期に限定とあった。この駅で77分も待ち合わせ時間が生じる。2.6km先の梅ヶ丘駅への歩きも考えたが断念。一度、決めたゴールインは中々変更できないものであると痛感。大内山駅で特急電車の上下の通過待ち合わせのため（特定の期間）、1番ホームではなく3番ホームであった。時刻表の上に臨時記載があった。暗くなった道筋を列車で走り、尾鷲駅には19時51分到着。20時少し過ぎにホテルに到着。やれやれ。大河ドラマを観て、ホテルと目と鼻の先の“サークルK”で夕食用の食料を買い、ホテルで本日の成果に対し、祝杯をあげる。その後バタンキュー。本日の営業キロは31.8km、万歩計は58,671歩であった。



伊勢柏崎駅 大内山駅

第4節 3日目：8月10日（月）：大内山～尾鷲 晴れ

大内山(8:17)～梅ヶ谷(9:08)～紀伊長島(11:54)～三野瀬(15:00)～船津(16:40)～相賀(17:50)～尾鷲(18:48)

本日も5時過ぎに目が覚める。ホテル界隈の散歩に出かける。サークルKで2枚の地図を1枚にしてコピーする。歩きやすくするために。5時54分、熊野古道の標識前を通過。6時、尾鷲港（三重漁連尾鷲工場）に到達。太陽が昇る時間帯であった。再度ホテル界隈に戻り、8日の夜、夕食に立ち寄った太将をデジカメに収める。



ホテルカラの眺め



尾鷲港



ホテルには6時19分戻る。若干の腰の痛みを感じ、湯船に入り、腰を温め、5階レストランで朝食。本日は洋食とする。



尾鷲港界限



太将



裏側からのホテル

ホテルを7時15分頃出、昨日と同じ列車（尾鷲発7時32分）で大内山まで移動する。列車の窓から本日の路線を確認する。山間や海岸が続き難しそうなコースであった。特に、梅ヶ谷駅と紀伊長島駅の間は。大内山駅には8時17分着。駅から少し歩くと、国道に繋がっていた。8時39分、牛乳の郷大内山村看板前を通過。牛の像が印象的であった。8時46分、尾鷲36km地点に到達。8時50分、大内山大師堂前を通過。9時8分、梅ヶ谷駅に到着。国道42号線に沿って駅があった。駅界限にはやばしら公園と八神神社があった。



大内山駅



牛乳の郷大内山村



梅ヶ谷駅



9時33分、新宮89km、尾鷲33km地点に到達。9時42分、荷坂峠を通過。9時51分、175mある荷坂トンネルを通過。トンネル前には「熊野古道荷坂峠」の看板があった。トンネルを出ると、大紀町から紀北町となった。10時2分、マンボウの丘に到達。ここからの眺めは最高だった。ここから、下りとなり紀伊長島駅を目指すこととなる。10時18分。落下物防止トンネル越え。10時53分、新宮84km、尾鷲28km地点に到達。



荷坂トンネル



マンボウの丘



伊勢長島駅への路

街並みとなる。工事している人から、トンネルを越えて、紀伊長島駅を目指す道筋を教
えて頂く。当初のコースを変更。こちらの方が、風光明媚な海岸線を歩けるからだ。11 時
3 分、540m ある孫太郎トンネルを通過。トンネルを越えた先の十字路を右折し、海岸線に
沿って歩く。11 時 22 分、山間に下り列車を発見。安堵する。



孫太郎トンネル 紀伊長島港

11 時 26 分、紀伊長島港に沿って歩く。民家があるところには、3 m～4 m位の波除の堀
が続いていた。所々で開閉できる門があった。11 時 37 分、片上川歩道橋を通過。熊野灘の
波が押し寄せてきていた。11 時 40 分、養海院前を通過。200m位先に紀伊長島駅が見える
が、建物等があり行けず。11 時 48 分、二郷踏切を横切り、鉄道の左側を鉄道に沿った路地
を 300m 位歩く。11 時 54 分、紀伊長島駅に到着。



紀伊長島駅



海幸



駅前で食事をしようと思ったところ、「今日は団体が入り休業です。誠に申し訳ありません」とのこと。別の店を探すことにする。12時、再び二郷踏切を横切り、鉄道の左側を歩く。12時6分、219歩ある長島橋（赤羽川）を横切る。12時11分、海岸線に沿った長島線を歩く。商店街が続く。12時15分、紀伊長島郵便局前を通過。12時20分、海幸（0597-47-1383）という店に入り、ちらし寿司（1,000円）を注文。新鮮な具でとても美味しかった。若い夫婦が一組あった。帰りがけ、歩きの名刺を差し出し、ご主人と奥様にこれまでの歩きの概要をPRする。25分の休憩で火照った体を冷やしてくれた。12時45分、この店を出る。ここから三野瀬駅は遠かった。



三野瀬駅への路



三野瀬駅

13時5分、国道に出る。長島という交差点であった。右手にはトンネルがあった。13時10分、尾鷲24km地点に到達。近くのコンビニでアイス購入。13時25分、JR線を跨ぎ鉄道の右を歩く。13時40分、378mある江ノ浦トンネル（669歩）前に。14時、風光明媚な海岸線が続く。14時7分、233mある古里トンネル（407歩）前に。14時12分、尾鷲20km地点に到達。14時33分、358mある道瀬トンネル前に。このトンネルは単独の歩道があった。14時46分、尾鷲18kmの地点に到達。三浦という地名が出てきたので、半ば通り過ぎと思い、庭先で花木に水をあげている年配の方に恐る恐る問い合わせる。「三野瀬駅は行き過ぎましたか」と。すると、「この交差点を曲がり5~6分位歩いた先にあるよ」との回答をもらい安堵する。三浦踏切を横切り、300m位鉄道に沿って歩いた先に三野瀬駅（15時）があ

った。特急等の待ち合わせで。列車は停まっていた。再度、三浦踏切（15時3分）にも依然列車は停まっていた。駅舎はトンネルを出た先にあった。もう少しでこの駅は通り過ぎるところであった。15時22分、JR線を潜り、鉄道の右側を歩く。15時31分、420mある三船トンネル(725歩)前に到着。16時、馬瀬を通過。この限界で尾鷲15km地点に到達。



船津駅

16時22分、167歩ある両郷橋（船津川）を渡る。16時26分、上里バス停前を通過。運よく、大内山駅から歩きかけ、腰の痛みがなく安堵。用心してジョギングは控える。16時40分、やっとのことで船津駅に到着する。この駅への案内板は国道からあり。国道から300m位町道を歩いた先にあった。16時50分、尾鷲11km、新宮66km地点に到達。17時1分、133歩ある往古橋（おうこ：往古川）を渡る。17時35分、高速道路下を潜る。17時40分、サークルKがあった。街並みがある相賀駅には17時50分到着。



往古川

相賀駅

ここから、尾鷲駅までややこしいので注意する。誤って長浜方面に行ったら大変なことになるからだ。通行人の方に国道に出る道筋を教えて頂く。18時3分、348歩ある銚子橋（銚子川）を渡る。18時15分、お伽話に登場するごんべ洞門前に到着。壁にごんべの画像（紀勢国道工事事務所）が記されていた。18時22分、道の駅海山（みやま）馬越峠前を通過。18時25分、JR線を跨ぎ、JR線の右側を歩く。18時50分、尾鷲4kmの地点に到達。辺りは相当暗くなりかけていた。18時55分、135歩ある馬越橋を渡る。18時56分、尾鷲行のバスが通過して行く。19時やっと606mある尾鷲トンネル(1,012歩)前に。



ごんべ洞門 馬越峠

トンネルを出ると尾鷲市となる。山間の高台から夜の尾鷲市が見える。要所要所に外灯があり助かる。尾鷲駅には19時48分到着。ホテルには20時5分着。ホテル傍のサークルKで夕食を購入し、今日もホテルの部屋で祝杯をあげる。本日の営業キロは36.4km、万歩計は75,654歩であった。それにしても、紀伊長島から三野瀬までの営業キロ7.5kmは長かった。歩いても歩いてもトンネル、海岸、山であった。腰が痛くなることなく無事歩き終え、充実した一日を送ることができた。明日は新宮までの集大成である。色んな作戦が浮かび熟睡できず。深夜3時頃起きて、作戦を立て直して、再度2~3時間仮眠に入る。



尾鷲トンネル 尾鷲駅

第5節 4日目：8月11日（火）：九鬼～尾鷲 晴れ

九鬼(7:48)～大曾根浦(10:58)～尾鷲(11:50)

当初の作戦を次の通り、変更することにした。

- ① 尾鷲から九鬼に向かって歩くのではなく、九鬼まで列車で移動し、九鬼から大曾根浦、尾鷲と向かう。このコースの変更は、尾鷲からであれば、特急があるからだ。
- ② 新宮からの移動は、青春18きっぷではなく、特急くろしお28号(14時27分発)を使用。加えて、新大阪からも18きっぷではなく、新幹線を使用。このプランに変更しないと、後一泊必要になるからだ。

この作戦に改め、仮眠した。6時前に目が覚める。チェックアウトの準備をする。6時半に朝食を済ませ、ビジネスホテルフェニックスを7時過ぎに出る。尾鷲駅には7時12頃到着。コインロッカーを駅員さん(山口さん)に問い合わせたところ、「最近キオスクの閉鎖により、コインロッカーは撤退しました。駅前のビジネスホテルで預かってくれるところがありますので。そちらに行ってみて下さい」との助言をもらい、ビジネスホテル“胡蝶館”に向かう。無料で気持ちよく預かって頂く。感謝感激。荷物を背負っての歩きならば、ジョギングもできないので、場合によっては宿泊の事態になったかも知れない……。正に助け舟の登場であった。少し早めにホテルを出たのがよかった。「早起きは三文の徳」を身に染みて感じる瞬間であった。



尾鷲駅 九鬼駅



九鬼駅

尾鷲発7時35分の列車で大曾根浦、九鬼と移動。大曾根浦から九鬼まではトンネルまたトンネル(九鬼トンネル)で歩くのは至難の技。九鬼駅には7時48分到着。1年半振りに観る風景であった。ジョギングの服装で300m位歩き、幹線道路(県道311号線:鉄道を跨ぎ鉄道左側となる)に出る。大回りし、駅ホームを見下ろす。8時8分、新九鬼橋を渡る。その先で山の雑草を刈っている人達と出くわす。8時20分以降、何カ所かの土砂崩れ除けのガードを潜る。



大曾根浦駅への路

8時36分、県道311号線から右折し、県道778号(中井浦九鬼線)の山道に入る。4m道路であった。暫く歩くと、1台の車が停まっていたので、私と同じ年恰好の方に大曾根浦駅への道筋を確認する。非常に遠いが、この道を真っ直ぐ行けば、行けるとの確認が得られ安堵する。数分、この方は相賀さんという方で私と学年が同じであった。今年から定年退職でのんびり過ごしているとのことであった。9時11分、熊野灘が少し見える。ここからいくつもの橋を横切り、行野浦を目指す。9時13分、深谷橋。9時19分、健康とゆとりの森前を通過。9時21分、塩受橋。9時26分、元行野橋。9時29分、中山橋。9時32分、豊緑2号橋。9時41分、炭焼橋。9時46分、熊野灘が近づいて見える。山間を歩いていると、歩いても歩いても同じ風景であった数年前の碓氷峠を思い出す。



熊野灘

行野浦

9時50分、雷橋。9時52分、美しい熊野灘が前方に広がる。9時58分、無名橋。10時5分、無名橋4。10時10分、行野橋。この橋と対面し、行野浦近しと感じる。10時21分、殆ど同視線で熊野灘が広がる。10時23分、前方に民家あり。その先の自動販売機で給水。からからになりかけつつあった喉を癒してくれ一息つく、汗だくで時間との戦いが続き、不安定な精神状態により、途中の山間でボールペンロスト。しかも、地図は汗でボロボロとなる。10時29分、行野浦で海水を楽しんでいる親子連れを見つける。10時36分、鉄道を横切り、左側となる。尾鷲湾が見える。10時50分、500m位先に大曾根浦駅が見える。10時53分、鉄道下を潜り、鉄道の右側となる。10時58分、大曾根浦駅に到着。



大曾根浦駅

ここから、尾鷲駅まで花道が続く。11時8分、可愛らしい案山子前を通過。11時18分、紀ノ川大橋を通過。11時31分、尾鷲港に到着。ここから、直線距離で尾鷲駅まで10分位。何とか、尾鷲発12時の列車に乗れそうである。この辺りから精神状態が安定化する。11時49分、朝荷物を無料で預かって頂いたビジネスホテル胡蝶館に立ち寄り、深々と御礼を申し上げ、尾鷲駅へ。尾鷲駅12時の列車で新宮駅へ。何とか特急列車を活用せず間に合いほっとする。



尾鷲駅への路



ビジネスホテル胡蝶館 尾鷲駅

満足した気分で新宮駅まで移動する。途中、1年半前に踏破した駅舎が次々現れる。懐かしい限りだ。新宮駅には13時20分着。トイレで汗だくだくのジョギングウェアからウォーキングスタイルに着替える。そして、新宮窓口で岡山までの乗車券(7,340円)と14時27分発のくろしお28号特急券(970円)と新幹線特急券(2,480円)を購入。そして、お袋にお土産(熊野古道)を購入。1時間位、新宮でのんびり過ごし、くろしお28号、新幹線(新大阪発19時5分、岡山20時20分着)、マリンライナー63号(20時41分発、高松

21 時 38 分) と乗り継いで実家へ。

新宮から和歌山までは非電化ではなく電化されていた。電車の中で仮眠したので、はつきりした風景は見落としたが、亀山＝新宮間に比べれば、歩きやすそうなコースに思えた。実家には 22 時 30 分着。お袋が晩飯を用意し、起きてくれていた。お袋は何歳になっても有難いものだ。天や神、そして先祖に感謝あるのみ。本日の営業キロは 11.1 km、万歩計は途中で 0 クリアになったため、2 万歩と見なす。これで、亀山から新宮までの 180.2m が繋がる。近い将来、新宮＝和歌山間の 200.7 km を達成したいものだと夢がまた膨らむ。



新宮駅



新宮駅 勝浦海岸線